

米沢市教育等に関する施策の大綱

《基本理念》

「教育の米沢品質」を共に創り上げ、持続可能な社会に貢献できる人づくり

「教育の米沢品質」とは、私たちが、上杉鷹山公以来、先人から脈々と受け継ぎ、私たちの心に根付いている「なせばなる」の精神に代表される先人の考えや教えなど、長年培ってきた精神と文化を大切にしながら、未来を見据え、学園都市等の米沢の特性や強みを活かして一人一人に質の高い教育を提供するものです。

人生 100 年時代を迎え、グローバル化が進むとともに AI の発達等で社会のシステムが大きく変化し、多様性への理解が求められる現代にあって、自ら考え行動することができ、たくましく社会を生き抜く力を持ちながらも、思いやりや相互理解力を併せ持った「新たな時代にマッチし思いやりを持った『がってしない子ども』」を育て、米沢から世界を目指す若者や、一人一人が輝き地域を担う多様な人材を育てていきます。

《基本方針》

1 新たな時代にマッチした思いやりを持った「がってしない子ども」の育成

「なせばなる」の精神と「勇なるかな」の教え（※1）を胸に抱き、様々な困難にもひるむことなく、勇気を持って夢に向かい、逞しく社会を生き抜いていくことができる子どもであるとともに、草木塔（※2）に代表される自然との共生やその恩恵に感謝する心等のこの地域に根差した精神を大切にし、人を思いやり、お互いの個性を理解して協力し合える子どもである「新たな時代にマッチした『がってしない子ども』」を育成します。

※1 「勇なるかな勇なるかな、勇にあらずして何をもって行なわんや」

上杉鷹山公の師、細井平洲が藩政改革に臨む鷹山公に送った言葉。「勇気が必要、勇気なくしてどうして政治ができるか（何をやるにしても、まず勇気が必要）」の意。

※2 草木塔

自然の恩恵への感謝と、伐採された草木の魂への供養の心から建立されたと考えられる塔（供養塔）であり、その思想は環境問題や自然との共生が重要視されている現代に通じるものとされる。置賜地方に数多くみられ、最も古いものは安永9年（上杉鷹山公の時代）に田沢地区に建立されている。

2 自ら学び考え行動し、これからの時代を生き抜く力の育成

I C T等を活用した教育を推進するほか、家庭学習や読書習慣の充実を図り、基礎学力を高めるとともに、読解力や豊かな感性を育成します。併せて、実践力が求められる社会で活躍できるよう、「学思行、相須って良となす」の教え^(※3)を活かし、自ら学び、考え、行動できる力を育みます。また、教育環境の整備を図り、グローバル化や高度情報化が進むこれからの時代を生き抜くために必要とされる多様な能力を育成します。

※3 学思行、相須って良となす（がく・し・こう、あいまってりょうとなす）

細井平洲の説く、「学びとは、ただ知識を得るのではなく、学んだことをよく考え、行動することで、本当の学びになる」という教え。

3 生涯学び、学びを活かして元気に活躍する人づくり

芸術文化やスポーツを通じ、長寿社会を元気でしなやかに生きる心豊かで健康な人づくりを推進します。

また、多様な機会を活かして生涯にわたって学び、自らの学びを活かして自己実現と地域に活力を与えることができる人づくりを推進します。

4 家庭・地域の教育力の向上と郷土愛を持った人づくり

家庭・学校・地域が連携した地域教育体制を構築し、家庭教育の支援や、公德心・規範意識等の醸成を図ります。

また、地域に伝わる伝統文化等の継承等を通じ、幼少期から郷土への誇りや愛着を養い、将来にわたり本市のまちづくりに関わる人づくりを推進します。